

こやまだより

野火止

のびどめ

2018

No.64

編集 発行

(福)東京都社会福祉事業団

東京都小山児童学園

〒203-0041 東久留米市野火止 2-22-26

電話 042 (471) 0041

FAX 042 (475) 9046

<http://koyama-gakuen.jp/koyamatop.htm>

平成30年6月15日発行

平成30年度/登録第1号



ごあいさつ

園長 千葉伸一

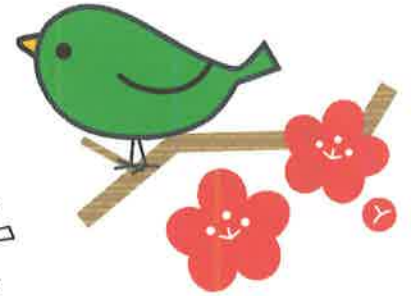
梅雨のじめじめが続きますが、子ども達にはどこ吹く風、毎日元気な声が外から聞こえてきます。いつも小山児童学園を応援してくださり、ありがとうございます。

今年も四月に新しい児童を受け入れましたが、いずれの児童もすっかり施設の生活に慣れたようで、元気に暮らしています。児童受け入れの面接の際には、その度に、しっかりと安全が確保され、安心して生活できる施設にしていくことを心に誓いつつ、子どもとも気持ち良い生活が続けられるよう、ルールを守って楽しくやっいていこう！と約束を交わしています。小山児童学園の運営にあたっては、児童がいつの日か家庭に戻ることも、独り立ちしていくことを念頭に、自立と自律の二つの「じりつ」を育むことを運営方針としています。

地域の皆様や関係機関の皆様の協力添えを頂きながら、児童の最善の利益を目指して、職員一同、児童支援に取り組んで参ります。



門出を



祝う会

T・T (就職)

本当に何度も何度もお世話になりました。とても感謝していると同時に、みなさんと別れるとなると、とても悲しいです。今まで本当にありがとうございました。

U・T (就職)

今までありがとうございました。

S・S (専門学校進学)

私は、学園で二年間お世話になりました。最初は、職員と寮の子ども達と仲良くなれませんでした。約半年もしゃべりませんでした。だんだん、打ち解けられるようになりました。進路活動では、とても助けてもらいました。急な進路変更をしたのに、一緒にやってくれました。分からない事は、私が理解するまで教えてくれました。本当に短い間でしたが、ありがとうございました。桜寮に入れてよかったです。



Y・T（就職） □□ □□□□ □□ □□□□ □□ □□□□ □□ □□□□

私は、小山児童学園に五年間暮らしてきました。初めは、いやでしたが同じ部屋の寮生に少しずつ周りを教えてもらって少しずつ慣れていきました。行事で寮外出や寮外泊などで周りの寮生と少しずつ関係を持つ事ができるようになりました。趣味のカードゲームの大会を一度やってくれてとても嬉しかったです。職員にも迷惑をかけてしまいましたが、少しずつ直すことができました。今まで五年間お世話になりました。ありがとうございました。

K・N（大学進学） □□ □□□□ □□ □□□□ □□ □□□□ □□ □□□□

辛いものは辛い。そう言って良い環境がもっと広がれば良いなと思います。「自分よりも辛い人は沢山いるから。」などと思って我慢する必要はありません。自分より誰が辛いのかなんて、世界共通の辛さ計測値がある訳じゃないからわかりません。自分が辛いと思ったなら、「辛い、誰か助けてくれ。」と、声を大にして言って良いのです。僕はここに入所した事でそれに気付くことができました。活かせるものは存分に活かしましょう。



3月16日に門出を祝う会を行いました。会場内は華やかに飾られ、調理室からはフルーツの盛り合わせ・ショートケーキなどを用意し、卒園生をお祝いしました。卒園生からは学園・職員に対する感謝やこれからの新生活に向けた想いが語られ、心温まる会となりました。卒園生の活躍を応援しています。

栄養士





ピアノ発表会



ピアノ発表会を参観しました。幼児が1人で弾けるようになっていたり、始めはピアノが苦手だった児童も一生懸命弾いていた姿に感動しました。何年も続けている中高生は、とても上手なので成長を感じました。それぞれ好きな曲を選曲させてもらっているのも、興味を持って練習できたことも良かったと思います。発表会最後には、鈴木先生の華麗なピアノ演奏を聞く事ができて嬉しく思います。毎年のことですが、鈴木先生には長年ピアノを教えて頂いており、心より感謝しております。有難うございました。

竹寮担当職員



編集後記

発行が遅くなってしまいましたが、今年度最初の野火止を発行することができました。新しい職員も加わり、新たに今年度もスタートします。今年度もどうぞよろしくお願いします。 編集委員